

巻・頭・言

青技交卒業。そして、ミライ研 2 期目へ。

令和元年 5 月 1 日。すめらぎいやさか(天皇彌榮)。いよいよ令和の新時代がスタートしました。

平成元年に設立した青年技術士交流委員会(青技交)。今年は 30 周年記念イベントも企画される中、このイベントをもって青技交を卒業する私にとって、技術士の役割や社会への貢献について改めて考える節目でもあります。

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)は、平成 29 年 1 月 27 日に発足・活動を開始し、2 年が経過したところです。この間、各大学・高専等や青技交の協力はもちろん、日本技術士会北海道本部の会員・会友皆様に多大なるご声援・ご助言等をいただき、充実した活動を続けることができました。この場をお借りして皆様に感謝申し上げます。

(ミライ研発足の背景や目的、設立 2 年目であった平成 30 年度の活動結果等につきましては、本号の報告、各号の活動レポートを参照して下さい)

2 期目に入った今年からは、出前講座&座談会企画に加え、新たな理工学系教育現場の支援事業活動等に着手しております。その名も「元町会館前広場活用プロジェクト with 北海道札幌工業高校」です。3 年生の課題研究の枠をお借りし、3 班(23 名)とともに、約 1 年間、地域の広場をより活用するための取組みを行います。具体的には、広場の一部について、測量、計画、施工を行ってまいります。地域のニーズを聴き取りながら、また、地域の皆さんとの活動にも参加しながら、技術士と一緒に仕事をして技術士の理解を深め、ニーズに応える“モノづくり”について勉強します。実は、この活動の中心を担っているのはミライ研のメンバーが所属する日本データサービス株式会社で、昨年も試行的に実施

小澤 正志(おざわ まさし)

技術士(建設/総合技術監理部門)
CPD 認定会員

公益社団法人 日本技術士会
北海道本部 社会活動委員会
技術者のミライ研究委員会 代表
北電総合設計株式会社
土木部 公共関連技術室 室長



しており、建設新聞(平成 30 年 6 月 28 日)にも掲載されました。そして、まだ企画の素案段階ですが、「まちあるき系企画 with 北海道科学大学」についても先生と協議中です。新たな展開、非常に有益な企画となることを、いまから楽しみにしております。

さらに、ミライ研にはもう一つ目的があり、若手技術者が生き生きと働くために必要な環境づくり(意識改革、人材育成等)にも取り組みます。働き方改革関連法の施行に伴い就業時間が制約されるなか、生産性を高めつつ、多様な働き方を選択できる社会を実現することを目指していく必要があります。詳細はこれからになりますが、青技交とのコラボ企画も視野に入れながら検討・協議を進めていきます。

さて、平成 23 年 3 月 15 日に「技術士(建設部門)」に登録し、青技交に入会してから早 8 年が経過し、その間、「技術士(総合技術監理部門)」を含めて 40 個以上の資格を取得してきました。この経験を通し、資格を取得することそのものが証明するもの、取得したことで企業内の役割等が変わること等を説明し、学生達に就職後の継続的な研鑽や資格取得の重要性等が伝わったのではないかと考えております。

令和元年 9 月に、8 年以上活動してきた青技交を卒業しますが、引き続き、青技交の連携・協力を得ながら、ミライ研の活動は続きます。未来の技術者を増やし、技術士を増やすこの活動を、自分自身も楽しみながら、全国展開していけたら良いと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

最後に、皆様や社会にとって、令和元年がさらに良い年になるよう祈念致します。